



宮崎県

みまた



表紙写真／勝岡小学校5年生が議場見学。議会クイズに挑戦

こんにちは

議会です。

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

90
2018.2.15

発行／三股町議会

12月定例会(12月4日～12月15日)
町政を問う 一般質問(8名)
議員研修報告／勝岡小学校見学の様子

MIMATA



平成29年度 一般会計 約2億3600万円増の 補正予算を可決



12月定例会

町議会は、12月定例議会を12月4日から12月15日までの12日間開催しました。今回の議会上程された議案は18議案及び報告1件で、人事案件4件は総括質疑後に全体審議で採択しました。他は各常任委員会に14議案を付託し、審議しました。議案の主なものは、条例改正5議案、補正予算6議案、委員の任命及び選任4議案となっており、全ての議案が全会一致及び賛成多数で可決・同意しました。

一般会計補正予算

補正の主な増額は、施設型給付費（保育園や幼稚園等の施設で働く職員の待遇改善）約2億2千万円、ふるさと納税基金積立4千万円などで、補正額は、約2億3千6百万円で合計約105億8千7百万円となりました。

▼賛成多数で可決

特別会計補正予算

○後期高齢者医療保険

……………307万1千円 **減額**

○梶山地区農業集落排水事業

……………5万1千円 **増額**

○公共下水道事業

……………15万1千円 **増額**

▼全会一致で可決

○国民健康保険

……………2010万9千円 **減額**

○介護保険

……………486万1千円 **増額**

▼賛成多数で可決

条例改正

○三股町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例

○三股町立公園条例の一部を改正する条例

○三股町企業立地促進条例の一部を改正する条例

○町長等の給与に関する条例及び議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

▼全会一致で可決



人事案件

○公平委員会委員 ※1



児玉辰教氏
(新任)



小牧順子氏
(新任)



黒木弘己氏
(新任)

▼全会一致で可決

※1公平委員会委員は、法律で規制された町職員の労働基本権の代償として、設置される委員会です。

○教育委員会委員 ※2



久保田栄子氏
(新任)

▼全会一致

※2教育委員会委員は、教育に関する事務を行なうために、町長から独立して設置される合議制の執行機関です。

11月6日 臨時議会

▼全会一致で可決

○工事請負の締結について
三股勤労者体育センター
耐震補強・改修建築主体工事
……6446万5千円

平成29年 第7回 12月定例会 表決結果

◎は賛成 ○は反対 一は欠席 ※議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません。

議案番号	議案名	結果	森正太郎	楠原更三	福田新一	池邊美紀	堀内義郎	内村立吉	福永廣文	指宿秋廣	重久邦仁	池田克子	山中則夫	桑畑浩三	
84	平成29年度三股町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	◎	◎	議長職のため表決には参加しない	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	
85	平成29年度三股町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
87	平成29年度三股町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
意見書第5号	道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書(案)	可決	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—

上記以外の議案第79号から第83号、第86号、第88号から第96号については、全会一致のため未記載としております。
※桑畑氏は病欠

桑畑浩三氏は病気のため平成29年12月31日を以って議員を辞職され、平成30年1月4日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ここが聞きたい

一般質問とは

議員個人が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

山中 則夫議員 …………… 5p 掲載

①町政運営の諸課題の取組について

福田 新一議員 …………… 6p 掲載

①人口推移と就農案内について

②長田小のICT導入の学習について

楠原 更三議員 …………… 7p 掲載

①インバウンド事業について

②梶山城跡公園整備事業について

指宿 秋廣議員 …………… 8p 掲載

①第5地区の避難場所整備拡充について

②福祉行政の拡充について

③空き家対策について

森 正太郎議員 …………… 9p 掲載

①子育て支援について

②災害時に住民を守るしくみについて

③まち・ひと・しごと情報交流センターについて

内村 立吉議員 …………… 10p 掲載

①農業について

②第2地区分館について

③みまたん霧島パノラマまらそんについて

堀内 義郎議員 …………… 11p 掲載

①選挙の投票率について

②教育情報化の推進について

③くいまーの利便性について

池田 克子議員 …………… 12p 掲載

①小・中学生のむし歯予防対策について

②高齢者福祉に関すること

12月議会一般質問



山中 則夫 議員

質問

長田・梶山・田上の未来の構想は

町長

長田地区の魅力化に取り組む

問

三股町は合併しなくて良かったが、長田・梶山・田上地区は過疎化が増々進んでいる。今こそ具体的な「夢ある未来の構想」を示すべきでは。

町長 東京から長田に移住し地域おこし協力隊として活動している。又、スクールバスの運行を開始し児童数確保対策の取り組みも開始した。

問

本町は西高東低と言われ20数年が経つが、今こそ町が危機感を持って、4・5地区の活性化の為に真剣に取り組んでいくべきでは。

町長 天神原ニュータウンの分譲、長田町営住宅建設、保育所の分園の新築等を通じて、保育園・学校の一体的な教育にも取り組んできた。

問

これから開発が進む蓼池方面に地域住民の利便性と情報収集の機能をもつ施設として、役場の連絡所を兼ねた道の駅を建設してはどうか。

企画商工課長 町が道の駅を建設する予定はないが、コンビニでの証明書の発行や納税等を通じて、今後も住民サービスの充実に努めたい。

蓼池方面に道の駅を建設しては

問

三股駅の隣にある物産館は場所の問題もあり、充分には機能を果たしていない。蓼池方面に道の駅を建設する考えはないか。

町長 蓼池には現在工場団地の雨水対策・道路整備等、相当な投資をしている。現在は五本松団地の跡地利用の問題を優先的に考えている。

企画商工課長 町直営の道の駅の建設予定はない。

イベント補助事業の見直しを

問

マラソン大会に毎年700万円の事業費がかかる。大会の開催は良いが、今後は各種イベントの事業費の改善や見直しをすべきではないか。

企画商工課長 イベントの開催後は毎回反省点を協議し、次回に繋げている。これらの事業は「三股町地方創生推進会議」の委員から「継続・拡充」の意見をえている。

町内企業の育成等の取り組みは

問

本町は働く場所がないと言われるが、町内業者育成や企業誘致に町長が先頭に立ってリーダーシップを発揮し、真剣に取り組んでいるのか。

企画商工課長 企業誘致を促進するために工場団地造成事業に取り組む、雇用の場を確保する。

「町民皆スポーツ」を

問

アスリートタウンは多くの町民に根付いていない。「町民皆スポーツ」を推進すべきだ。

教育長 三股町スポーツ振興基本計画の施策の実現に、今後とも「町民皆スポーツ」を推進していきたい。



▲よかもんや物産館

福田 新一 議員



質問

年少人口割合が県内トップの背景

町長

「子育てにやさしい町」の評価

問 年少人口の割合が最も高いのは三股町が17・37%、続いて木城町が15・31%、綾町が14・42%だが、断トツの背景には何があるのか。

町長 いち早く取り組んできた「子育てにやさしい町」としての評価が若い世代に受け入れられている。医療環境、生活環境、交通アクセス等に恵まれていることや、都市計画税を廃止したことも要因の一つである。

新規就農者の状況

問 基幹産業である農業への新規就農者の状況は。

農業振興課長 経営者たる要件を備えた農業者とした時に、過去5年間の新規就農者は8名。施設露地野菜部門が6名。畜産部門が2名。親元に就農している農業者は施設露地野菜部門が3名。畜産部門が20名。

青年就農給付金の条件と金額は

問 就農給付金等の制度紹介や条件緩和の分かりやすい解説等の周知する努力が必要では。

農業振興課長 青年就農給付金事業

は、自立独立経営を目指す就農者を支援する国の事業である。「準備型」で45歳までに就農が見込まれる者に年間150万円が最長2年間交付される。「経営開始型」では45歳までに自立独立就農する「認定新規就農者」または、「認定農業者」で年間最大150万円が最長5年間交付される。農業改善普及センター、町農業振興課を窓口として対応している。

長田小のICT導入の目的

問 10月30日に行われた第6回議会報告会において、「パソコン導入事業に750万円の予算が計上されているが、中途半端なやり方で効果が出ず、損失にならないように。」と鋭い意見があった。再度、長田小のICT導入の目的は。

教育長 子ども達の未来を考え、時代の変化に対応できるように、教育の目的や学習のめあてを達成すること。

長田小から全小学校への発展を

問 長田小から町内の他の学校への発展をどう考えるか。

教育長 今後の取り組みとして、「三股町立学校ICT教育環境構築事

業」において、基礎部分といえるところを抽出し実施する予定である。ICT活用モデル校である長田小の他、各学校においても検証を実施し、導入の妥当性を高め、三股町の全ての小中学校において学習者用タブレットパソコンを4人に1台程度、約700台を配置する構想を描いている。

※ICTとは：

(Information and Communication Technology) 「情報通信技術」の略

教科書と併用してタブレットパソコン等で検索しながら情報を共有すること。



▲ ICT活用モデル校の長田小を視察

楠原 更三 議員



質
問

本町の今後の観光行政は

町
長

長期的視点で考えてほしい

問

観光ホームページの今後には開設したこと、本町の観光によろやく日が当たってきた。内容充実のために役場の総力を挙げた取組はできないか。

観光ホームページの今後には

町長 長田峡の景観を壊してまでの開発は考えられないが、地区の熱意は十分に理解している。

問

町内の観光地での普段の消費活動は、自販機以外では行えない。長田地区の活性化策として、長田峡付近に道の駅は考えられないか。

町長 長田峡ばかりでなく、町内各地域の観光地を町内外に発信する手段としてこの事業に取り組んだ。本町の観光行政はこの事業を中心においたものではない。今のところ次の手は考えていないが、今後については長期的視点で整備していく。五本松住宅跡地を本町の魅力を発信する場所として考えている。

問

※インバウンド事業に約1000万投資したが、この事業の需要取り込み策として今後の観光行政をどのように考えているか。

教育課長 国指定を目指し、文教三股の誇りとして位置づけ、町民の憩いの場や散策コースの設置など、地域の活性化に寄与するものとしていく。教育課が中心となって担当していく。

問

梶山城跡公園整備事業の全体構想は

梶山城跡の今後には

町長 わにつか自然公園の一角を占めている長田路の魅力創りについては、産業遺産を含めたストーリー性あるものとすることを検討していきたい。

問

ストーリー性のある観光地づくりのために、町を東西に貫通している県道33号線の魅力発掘を色々な角度から行うべきでは。

面的な広がりのある観光地開発は

企画商工課長 各課の情報を集めながら、旬の情報をスピーディーに伝えていきたい。これまで観光資源として取り上げていなかった部分の検証作業と共に、町内を小旅行するという考えを基本にして充実させていく。

問

この度、九電が送電線関連工事で周辺の林道を整備し、並行して役場が本丸跡周辺の灌木等の伐採を実施した。これを機に本丸跡へ多くの人が行けるような整備はできないか。

都市整備課長

引き続き来年も整備していく予定である。大手口の方は未買収地もあり、また重機の入る余地がないが、人が通れるような整備を考えている。

※インバウンドとは

観光で日本を訪れる外国人旅行者のこと。



▲油津港に入港した外国クルーズ船

議員 廣秋 宿指



質問

長田地区の公民館等の移転は

町長

危険な場所の建物移転は認識

問 急傾斜地危険崩壊箇所に建設してある施設数と、施設移転計画は。

町長 急傾斜地崩壊危険箇所に指定されている施設は、第5地区分館、第5部消防団詰め所、大野集落センターである。
第5地区分館、第5部消防団詰め所は、3ヶ年実施計画で協議中であり、状況は充分認識している。

問 平成29年の台風5号での長田地区では、避難数ほどのような現状は。

町長 台風5号襲来時は、8月5日午後6時30分に避難準備・高齢者避難開始を発令し、避難所を開設し、8月6日午前7時30分に避難勧告を発令した。

問 避難所毎の避難人数は。

町長 避難場所は、轟木集落センターに男性9名、女性13名の合計22名の14世帯で、大野集落センターの避難者はなかった。

介護用品支給事業の拡充は

問 要介護者を介護している家族に、紙おむつ等の介護用品のために、月額6千円を毎月申請・助成を行っているが、申請者の負担の軽減のために、変更する考えは。

福祉課長 介護用品の支給拡大については、現状維持と考えているが、交付の方法は、他の市町村の状況を参考に、来年度に向けて検討する。

問 本町の条例は、介護保険の項目で分類してあるが、都城市では老人福祉の項目で分類している。該当者の支給実績は、各年度毎にどうなっているか。

福祉課長
○平成26年度17名120万8千円
○平成27年度18名124万円
○平成28年度15名110万2千円
となっている。

空き家対策について

問 固定資産税の課税は、家屋が建っていると土地の課税が減額となる。空き家を取り壊した場合と放置した場合の固定資産税の場合にはどのようになるか。

税務財政課長 いろいろな条件で、税額は変わるが、例えば、土地面積が300㎡・路線価が1㎡1万円として、築50年の床面積100㎡の専用住宅の場合には、取り壊した方が1万5千円の負担増となる。

問 空き家は、そのまま放置していくと廃屋となってしまう、建物の所有権のある人が、子や孫と多くなり、ますます取り壊すことが出来なくなる。一定の条件で、助成金を町から出して、取り壊しのきっかけとするべきだ。廃屋を放置しておく、非行の場所になる事も考えられる。

企画商工課長 空き家の利活用を目的として今年度からリフォームの補助を始めた、取り壊しの助成は考えていない。

森 正太郎 議員



質問

就学援助の前倒しできないか

教育課長

今年度中に支給を行う予定

問

就学援助について、新入生への支給が入学式に間に合うよう支給を前倒しできないか。

教育課長 町就学援助規則の改正を行い、今年度中に平成30年度新入学児童生徒への入学前支給を行う予定。

子どもの医療費助成は

問

全国で1472市町村、84.5パーセントの自治体が通院代を小学生以上の子どもに助成しており、本町は遅れていると言わざるを得ない。歯科に限定しての助成など、段階的に拡充できないか。

町長 すべての小学生に対し医療費の無料化を実施した場合、約4100万円の新たな予算が必要。現在のところ現状維持と考えている。

福祉課長 歯科保健については予防と早期治療が重要となるため、就学前の早い段階で治療を行うように現在の取り組みを継続して行っていく。

子どもの貧困実態調査は

問

都城市では今年度行ったが、本町では実施しないのか。

町長

必要性や調査の方法について学習しつつ、実施に向けて検討している。

問

何回くらい検討したか、検討チームがあるか、役場の中だけでやるのではなく、支援団体など当事者を含めた会議をもつべきではないか。

町長

多様な関係者の連携・協力を得ながら実状に応じ施策を講じていく。

福祉課長

児童福祉係を中心に検討しているが、会議として行っていないので回数は出せない。

問

災害時に住民が全員避難できないか。

避難所の実態は

総務課長

地域防災計画では、すべての住民を受け入れられる収容人員とはなっていない。大規模災害時には学校の校舎や各コミュニティ施設の活用を考えている。

包括連携協定の内容は

問

まち・ひと・しごと情報交流センター（あつまい）について、MUKASA-HUBとの連携は。

企画商工課長

あつまいの運営支援・活性化に関する事、地域ビジネスの創出に関する事、地域の観光やブランドの振興に関する事、若者定着の取り組みに関する事、まちづくりに関することとしている。



▲三股町まち・ひと・しごと情報交流センター

内村 立吉 議員



質
問

本町の水田の作付面積は

農業振興課長

898.2ha(ヘクタール) である

問 平成29年度の作付面積の内訳は。

農業振興課長

平成29年度水田の作付面積は898.2haである。内訳としては、主食用が米320.9ha、飼料作物が360.7ha、野菜等の一般作物が145.2ha、WCSが44.0ha、加工用米が27.4haである。

※W.C.Sについて

問 WCSの検査方法、また不合格となった理由は。

農業振興課長

農業再生協議会による現地調査を実施。都城北諸県地域における判定基準に従い、AからEまでの5段階で交付の可否を判断する。

本年度は8月と9月に2回実施。1回目の調査時点での結果を対象農家へ通知した。C、D、Eの判定農家には改善指導を含め、9月に再調査実施の旨を通知した。

再調査には農業委員会、地域営農集団長、必要に応じては耕作者本人を同行させ、可否制度を行なう。

問 WCSの本年度不合格者となった面積と要因は。

農業振興課長

不合格となった面積は17筆の1.1haであり、不合格となった要因は、生育不良、栽培の指標に準じた肥培管理されていない。

基本的にAが合格、Bが条件不合格、Cが協議による判断、Dが不合格、Eが播種時期遅れ等による経過観察としている。

※WCSとは：

稲作発酵粗飼料(ホール・クロップ・サイレージの略)

県畜産共進会は

問 県畜産共進会牛枝肉の前回との比較は。

農業振興課長

100頭の出品牛があり、上物率100%あり、BMS No.については前回の10.1に比べ0.7低い9.4であった。枝肉単価は3,492円で前年の3,506円に比べ14円安であった。

第2地区分館について

問 第2地区分館の今後については。

町長

当該施設は昭和51年に建設され、41年が経過しており、町内9つある地区分館の中では最も古い施設である。平成19年度に新耐震基準に基づき耐震診断を実施した結果、施設の強度に問題はない。今後の在り方については、三股町公共施設等総合管理計画に基づき検討したい。

問 みまたん霧島パノラマまらそんの※AED応急処置の対策は。

教育課長

医療救護体制については中央広場に救護本部を設け、AEDについては13台を配置している。

※AED心肺蘇生法、AEDが届き準備ができるまで意識があるかを確かめ、胸骨圧迫する。(心臓マッサージ 1分間に100回〜120回、5センチ入り込むぐらい休みなく続ける。)命をつなぐリレー。





堀内 義郎 議員

質
問

期日前投票の充実を図る改善は

選
管
書
記
長

看板や事前掲示などで周知した

問

投票率をあげるため、期日前投票の充実を図る改善はなされたのか。

選
管
書
記
長

役場以外の三股駅では2日間開設し204名(前回92名)、西部地区体育館は57名(前回56名)、第6地区分館は32名(前回16名)であった。突然の解散であったが、投票所の表示として手作り看板の設置、更に、入場券にお知らせシールを貼り付け郵送、各施設への事前掲示や公式サイトなどでお知らせを行った。

問

10月に行われた衆議院議員選挙で、期日前を含む町内各年代別の投票率は。

選
管
書
記
長

投票システムの数値でみると

18歳	▼46	・82%	19歳	▼28	・17%
20代	▼22	・83%	30代	▼30	・11%
40代	▼44	・62%	50代	▼58	・11%
60代	▼67	・93%	70代	▼70	・50%
80代以上	44	・03%	98	50	・%

県内21位の投票率49.64%であり、前回26位の46.28%を3.36ポイント上回った。

教育情報化の取り組みは

校務支援等パソコン導入事業の進捗状況は。

教
育
長

校長・教頭・事務員等を除き、授業を担うほぼ全ての教諭・講師の校務用パソコン150台をタブレットパソコンに交換し、平成29年9月に運用を開始した。無線LANの整備と大型ディスプレイの補完整備を行い、現在9割程度の教室で環境整備を完了している。

問

今後の取り組みとして、長田小以外の学校についてはどう図るのか。

教
育
長

学習者用タブレットパソコンの活用方法や導入効果について検証を実施し、導入の妥当性を高めていく。その後、三股町全ての小・中学校に、学習者用タブレットパソコンを4人に1台程度、約700台配置する構想を描いている。

問

最近の生活支援コースでの利用者の状況はどうか。

総
務
課
長

平成26年度12、210人、平成27年度12、651人、平成28年度11、811人であり、運行

問

利用者の利便性を図るため、要望による路線の見直しの時期や判断決定の在り方はどうなのか。

総
務
課
長

コミュニティバス運営手、事務員と年に数回バスミーティングを開催し協議し、地域交通会議で決定している。

を開始した平成19年度5、954人から2倍程度の利用者数となっている。



▲くいまーるコミュニティバス

池田 克子 議員



質
問

むし歯予防にフッ化物洗口を

教育長

関係者の連携を図り検討する

問 小・中学生のむし歯有病者への対策は。

教育長 一学期に歯科検診を実施。結果を保護者に通知と治療勧奨している。予防対策として給食後に歯磨きを実施。

問 歯が健康なことによって運動能力や、学力の向上につながると思われる。県の調査によると当町の12歳時むし歯有病者率は平成23年度で26市町村中6番目に高い73・3%であった。平成27年度は2番目に高く78・5%と悪くなっている。この実態をどうみるか聞く。

教育長 色々な取り組みで、小・中学校共に本年度は減少している。

町長 むし歯を抑制するのは大変重要な事であると認識している。

問 フッ化物洗口を希望された保育園や幼稚園は何園か。

町民生活課長 現在15施設中9園が実施。来年度1園が新たに実施の予定。

問 12歳児のむし歯有病率をみると対策をとるべきではないか。保育園等も実施しているフッ化物洗口を小・中学校でも実施しては。

教育長 保護者の中には希望されない方もいると聞く、他の市町村の動向を注視し、学校、歯科医との連携を図りながら検討する。

問 県下の市町村の約半数が実施している。保護者の方に丁寧に説明しながらご意見を聞いては。

教育長 以前、学校で話題にしてみましたが、まだ問題があると言う。保護者の方への意見聴取も今後大事かと思う。

地域包括ケアシステムの状況は

問 超高齢社会を見据え、住み慣れた地域で暮らし続けられる「地域包括ケア」の整備が一層急務となっている。「高齢者福祉計画、第6期介護保険事業計画」に基づく「地域包括ケアシステム」の構築状況を聞く。

福祉課長 介護予防として「足もと元気教室」等の運動教室を実施。社協に生活支援コーディネータを配置し、多様なサービスを包括的・一体的に提供する体制作りを実施。持ち家のバリアフリー化の事業を実施。在宅医療と介護の連携に必要な情報共有の仕組みづくり等を実施。

問 今後の課題への取り組みは。

福祉課長 医療と介護の連携の推進が重要。その為「都城市・三股町医療介護連携推進協議会」を設置し、定期的に部会を開催、介護予防事業のさらなる推進。地域の方々に地域包括ケアシステムを理解してもらい地域で生活支援ができるよう体制作りを支援していく。





平成29年度 議会報告会(意見交換会)を開催しました。

開催日時／平成29年10月30日 開催場所／元気の杜

三股町議会では、日頃の議会活動の状況を町民の皆様へ報告するため、今回6回目となる「議会報告会(意見交換会)」を開催しました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様ありがとうございます。いただいたご意見等は、今後の議会活動の参考にさせていただきます。

報告会でいただいたご意見・要望等(アンケート)

アンケートより

※重複内容は割愛致しております。

(参加者23人、アンケート回答21名)

□ 今回の議会報告会を何で知りましたか。
自治公民館 18人、回覧 3人

□ 今回の議会報告会の説明は時間はいかがでしたか。
【説明】よくわかった 5人、どちらとも言えない 12人、わかりにくい 3人

【時間】長かった 6人、普通 11人、短い 1人

□ 報告会の開催箇所はいかがでしたか。
今回のように1箇所でもいい 19人、各地区でやってほしい 1人

□ 報告会の開催時間帯はいかがでしたか。
平日の夜間がいい 15人、土日の昼間がいい 2人、土日の夜間がいい 3人

□ 議会の傍聴をしたことがありますか。
ある 8人、ない 13人

□ 「ない」と答えた人に伺います。今後議会の傍聴をしたいと思いませんか。
思う 13人、思わない 1人

□ 三股町議会に対してご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

○ 懇切丁寧な説明頂き概要良く理解できました。勉強会と同時に

常任委員会活動を更に充実し、我が三股町の政策を方向づけし、町政発展に寄与することを期待します。

○ 議会報告会に公民館役員として初めて出席した。出席者の顔ぶれを見ると平均年齢65歳以上と思われ、活性化を図るためには、若手が進んで出席する報告会への工夫が望まれる。各委員会の報告はざっくりでポイントのみで良し。意見交換のみでもOK。

○ 議会報告会の改善に努力を!

○ 報告会ではなく、討論会にしたら? 議員の意見を聞きたいです。

○ 研修を深め、立派な三股を作ってほしい。

○ 報告会の資料は、もっと具体的にわかりやすく作っていただきたい。

○ 資料の報告が長い。

○ 説明が口頭であるため、分かりにくい。

意見交換会より

○ 研修セミナーを始めたことは良いこと。議員研修に参加し、自分たちで身につけ、三股町のために活かしてほしい。

○ 議会が役場のロビーで実況中継されているが、ケーブルテレビ放映はできないか。

○ 選挙権が18歳からになった。先日「わけもんの主張」あったが、町議会議員は一人も参加していない。

○ 全国学力学習状況調査において、三股町は連続で平均以下になっている。何か対策を打っているのか。教員ばかりに頼らず、地域ぐるみで捉えるべきだ。

○ パソコン導入事業に、750万円の予算が上がっているが、中途半端なやり方では効果が出ず、損失になるのではないかと。例えば、生徒が全員が使えない場合、職員室と保健室が離れていて電波が届かない、コンクリートの中でタブレット端末だけの使用は困難ではないか、教員の指導は大丈夫なのか、教員の世代層を考慮する必要があるのかなど。

○ 大淀川の上流に位置する三股町は、水の浄化意識を強く持たなければならぬ。公共下水道の接続の問題に議会も前向きな姿勢をお願いしたい。

○ 今回の議会報告のやり方だが報告の時間が長い。8時40分まで報告。議員からの報告は30分にして意見交換会に力を入れてほしい。

○ この度は貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございます。今後の議会活動に生かして参ります。



臨時議会を ます?!



役場に行った時にいろいろ見せてもらってとてもうれしかったです。

私は、役場の中を見学した時コンピュータ室に驚きました。役場全体のパソコン等を管理していて停電になっても動くようにしてあって役場には困らないように予備している事がわかりました。

役場の中を見学して心の中に一番残っていることは「福祉課」の事です。「子どもでも福祉はできるんだよ。」とおっしゃっていたことが心に残っています。

ほくは、議場の体験が心に残りました。特に議長のいすに座った所です。一番高い所にいすがあったので議場の全体が見れました。お忙しい中本当にありがとうございました。

ほくは、議会の人に、町民が自分たちの願いを伝えて町民がとても住み良い生活をしていることがわかりました。ほくは三股町は、とても住み良く自然がたくさんあって、空気もきれいでとてもいい所だと思います。役場でいろいろな事を教えて下さってありがとうございました。

三股役場を見学して、町の安全を守る仕事が身近になり福祉課等の仕事をかっこいいなと思いました。町の事を議場で決めてる事を初めて知り議員さんたちも頑張っているんだなと思いました。



感想 ありがとうございます。他にもたくさんの感想が寄せられました。

勝岡小学校 5年生50名が見学に来ました（平成29年10月26日）



勝岡小学校 開会し



**ひとこと感想を
聞かせてください!**

私は、役場の見学をしてこんなのあると思いました。将来副議長になってみたいです。

ほくは、議会をする所を見学したのが楽しかったです。ほくは、議会をする所を初めて見たのでビックリしました。これからも三股町のことをよろしくお願いします。

私は、役場は安心な町づくりをするお仕事だと思っていました。でも、それ以外にも困っている方々のサポートなど私たちの暮らしを支えてくれるお仕事のことを学びました。これからも三股町の暮らしをよろしくお願いします。

ほくは、議場が役場にあることに驚きました。ほくは、教育長の席に座りました。ほくは、人生で初めて議場を見ました。忙しい中ほくたちのためにありがとうございました。

私は、当日は行けなかったのですが、資料を見てとても良かったです。私も当日病気じゃなかったら行きたかったです。

議会でいろいろな話合いをしていることを学びました。住民が道路の事を言って話し合っていると聞きました。いい世界になるといいと思いました。

議会で話合いをするときにすべて録音していることが分かりました。



総務産業常任委員会視察研修報告



日程 / 平成29年10月17日(火) ~ 平成29年10月19日(木)

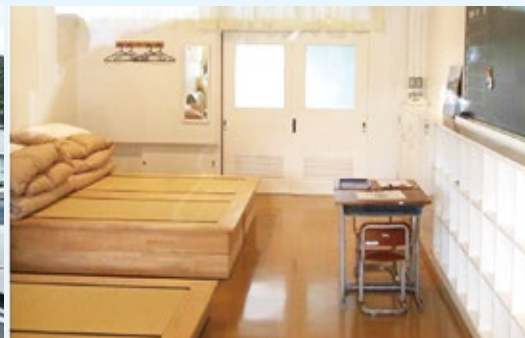
参加者 / 委員 4名
議長・事務局 【計6名】

千葉県南部に位置する隣接した二つの自治体の視察報告です。
6町1村の広域合併で誕生した南房総市と単独町政を選択した鋸南町のそれぞれの実状と地域活性化の在り方について研修しました。



特産の房州びわのオリジナルメニューを中心とした道の駅とみうら

道の「駅」設置数が全国1位の南房総市。市内全体に観光客を誘い入れるために、地域の特色を活かした「駅」が8か所に分散して設置しており、第3セクター方式で運営されています。



新たな都市交流施設として生まれ変わった保田小学校

鋸南町では著しい人口減少を逆手にとり廃校「保田小学校」を丸ごと利用した道の駅「保田小学校」を開設。連日たくさんの観光客が訪れています。



議会広報編集常任委員会

発行責任者 / 池邊 美紀

- 委員長 福永 廣文
- 副委員長 楠原 更三
- 委員 山中 則夫
- 委員 指宿 秋廣

謹んで新春のお慶びを申し上げます。さて、平成の合併から今年一月で12年を迎えました。本町は、自主自立の道を選択し合併しませんでした。これからは真の自立に向かって「特色ある町づくり」を強力に推進していくべきであると思います。また町内どこの地域に住んでも良い町だと実感できる、「均衡ある町の発展」を目指していかなくてはなりません。

我々議員としても「町政は町民のためにある。」を肝に銘じて、町政発展・福祉向上に努力していく所存であります。町民の皆様におかれましては、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。

今年もわかりやすい「議会だより」を目指して努力してまいります。

(山中)



編集後記